

【耐震改修工事のアドバイス】の選択肢一覧（Ver2.1 用）

壁 量

- ・建物の劣化も無く、有効な壁の量も満足しており、壁の配置もバランスよく特に問題ありません。
- ・壁の量は満足しているのですが、配置は偏っています。バランスを保てるよう壁を設置してください。
- ・有効な壁の量が不足で、配置も偏っています。バランスよく既設壁の補強を行ってください。
- ・有効な壁の量がかなり不足しています。新設壁や既設壁の補強を行ってください。
- ・2階外壁の直下に壁が不足しています。新設壁を考慮してください。

金 物

- ・柱と土台、柱と梁の接合金物が不足しています。地震時にこれらが抜け落ちる可能性がありますので金物補強を行ってください。
- ・筋かいの接合金物が不足しています。地震時に筋かいの効果が発揮できない可能性がありますので金物補強を行ってください。

水平剛性

- ・2階の床に火打ち材が無く、床組みの強さが不足しています。補強を考慮してください。
- ・床下部分の足固め、根がらみ等が不十分です。地震時に床が陥没する可能性があります。

基 礎

- ・基礎に亀裂があり、やや危険な状態と思われます。基礎の補強をお勧めします。
- ・無筋基礎は大きな地震力に耐えられないことがあります。基礎の補強をお勧めします。
- ・無筋基礎に亀裂があり、やや危険な状態と思われます。基礎の補強をお勧めします。
- ・ブロック、玉石基礎は大きな地震力に耐えられないことがあります。基礎の補強をお勧めします。

劣 化

- ・土台の劣化をそのままにしておくと、構造躯体に著しく影響を与えます。補修を検討してください。
- ・柱・土台の劣化をそのままにしておくと、構造躯体に著しく影響を与えます。補修を検討してください。
- ・柱の劣化をそのままにしておくと、構造躯体に著しく影響を与えます。補修を検討してください。
- ・外壁の劣化をそのままにしておくと、構造躯体に著しく影響を与えます。補修を検討してください。
- ・浴室の劣化をそのままにしておくと、構造躯体に著しく影響を与えます。補修を検討してください。
- ・雨漏れをそのままにしておくと、構造躯体に著しく影響を与えます。補修を検討してください。